

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公表番号】特表2008-515831(P2008-515831A)

【公表日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2007-535066(P2007-535066)

【国際特許分類】

C 07 F 9/48 (2006.01)

C 07 F 9/08 (2006.01)

B 01 D 11/04 (2006.01)

【F I】

C 07 F 9/48

C 07 F 9/08

B 01 D 11/04 A

B 01 D 11/04 101

B 01 D 11/04 102

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年3月8日(2010.3.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

- 20 ~ 150 の温度及び1 ~ 5000 kPaの圧力の条件にて、抽出及び任意の相分離を行うことによりリン含有キレート配位子を精製する方法であって、抽出及び任意の相分離において極性抽出剤を用いる(但し、当該抽出及び任意の相分離を行う前に、濾過または水での抽出を行う場合を除く)ことを特徴とする方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

適当な極性抽出剤は、脂肪族化合物及び脂環式化合物と、2相を形成する全ての非プロトン性極性溶剤である。極性溶剤としては、好ましくはニトリル、ジニトリル及びジアルキルアミン、さらに好ましくはジニトリル(例、アジポニトリル又はメチルグルタロニトリル)である。